

## 【研究に関する情報】

研究課題名	2016-2020年発症の小児期B群レンサ球菌感染症の全国調査
研究責任者	<所属(診療科等)>感染症科 <職名・氏名>医監 村井健美
研究期間	2021年1月22日(倫理委員会承認日)～2021年5月31日
研究の目的	2016-2020年の5年間に発症した小児期B群レンサ球菌(GBS)感染症症例を早発型(日齢0-6)、遅発型(日齢7-89)、超遅発型(日齢90-364)に分類し、1)臨床症候群の種類(菌血症、髄膜炎など)、2)予後、3)発症頻度、を解析します。これらの結果は、我が国のGBS感染症の重要な疫学データになり、海外で接種が検討されているワクチンの日本への導入における重要な情報をもたらします。
研究の方法	<対象となる患者さん> 2016-2020年の5年間に当院で出生された患者さんを母集団とし、当院で診断のついた1歳未満のGBS感染症患者さんが対象となります。  <利用する試料および情報> 性別、誕生日、院内出生の有無、母体搬送の有無、双子や三つ子であるかの有無、分娩様式、分娩時の異常の有無、発症年齢、初発症状、GBSが検出された検体、診断名、経過、再発の有無、GBSの血清型、妊娠中の母体のGBS保菌尾有無、保菌の場合にはGBSの血清型、分娩時抗菌薬の使用の有無、妊娠中のGBS保菌検査の実施、感染ルートの検索の有無
問い合わせ先	この研究への参加は任意です。あなたの自由な意思が尊重されます。上記の研究に試料または情報を利用することをご了解いただけない場合は、下記へご連絡ください。 なお、研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありません。ただし、申し出をいただいたとき、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合や、試料や情報が匿名化されて個人が全く特定できない場合などには、結果を廃棄できないこともあり、引き続き使わせていただくことがあります。 <研究責任者> 長野県立こども病院 感染症科 部長 南 希成 〒399-8288 長野県安曇野市豊科 3100 電話：0263-73-6700(代) 臨床試験支援室 (PHS8574) ファックス：(0263) 73-5432

